

「夏だ！休みだ！里山へ行こう！②」 イベント報告

「夏だ！休みだ！里山へ行こう！②」は、天気予報に振り回された末の予備日、8月24日(日)での実施でした。そのため、参加者の確認やスタッフの確認等に手間取り、その分余分な労力が必要になるといった結果につながりました。来年度以降のこういったイベントの実施について大きな課題となったように思えます。

しかし、当日は、スタッフは8時30分にBCに集合。打ち合わせの後、開会に向けてのテント張りや書類の点検、その他車誘導員の配置等、手取り早く準備が整います。

開会式前にはスタッフによる自然講座がありましたが、会長や協賛団体の挨拶のあと、全員で記念撮影。今回は、予定していた人数の半分、29名の参加ですが、それでも今にも泣き出しそうな天気にもかかわらず、元気いっぱいな顔をカメラに見せてくれます。



そして、いよいよ自然観察、里山散策と遊びの広場が始まります。それぞれ3つのグループに分かれて里山に入り、スタッフから動植物の不思議や里山の今が抱えている課題等について説明を受けました。しいたけの話や今全国の山々で問題になっている「なら枯れ」の説明は、特に興味や関心をもたれたようです。また、遊びの広場での時間は、子供たちが一番楽しみにしていたようで、ここではロープ渡りやブランコ、また丸太渡りや木登り等がスタッフの手によって準備されています。そこでは時間を忘れて大声を出して目いっぱい遊ぶ子供たちが印象に残ります。普段こういった環境の中で遊ぶことのない子供たちの毎日が垣間見えるようです。

その後戻ったBCでは、スタッフ心づくしのしそジュースを飲んだりやき芋をほお張りながら、楽しい昼食をとります。やはり蒸し暑い中での活動ゆえか飲み物が飛ぶように売れます。特にしそジュースが好評です。

昼食の後はバウムクーヘン焼きが待っています。今回は3班編成のため、全部で各班2本ずつ合計6本を親子協力して焼きます。しかし今年のバウムクーヘンは例年以上にうまく焼け、見た目も味も今までで最高と感じられます。やはり年を重ねることは貴重なんですね。



最後は、竹ぼっくり作りです。このころから空が一段と怪しくなりますが、竹切りの現場は熱気でむんむん。子供たちも今まで経験したことのない竹切りや穴あけには興味があるようで、一生懸命竹に向かう子供たちの真剣な顔、顔、顔。その後の竹ぼっくりを使った遊びの後にはスタッフが準備した「完歩証」をもらって大きな子も小さな子も大喜び。楽しい時間が過ごせました。



でも、各自作った竹ぼっくりを使っただけの遊びの時間の最中には無常にも空から大粒の雨が・・・とうとう土砂降りの天気になってしまいました。このために予定終了時間を繰り上げ、閉会式を行わざるをえませんが、多くの参加者の顔には楽しかったよ、という表情が十分すぎるほど見て取れます。

また機会と興味があれば是非こういったイベントにも積極的に参加してほしい、という副会長のまとめでイベントを終了しました。

(八木 順一)